
田中電子工業、2012年の銅製ボンディングワイヤ出荷量が 前年比約2倍で過去最高を記録

～ 金の価格高騰により銅への素材代替が本格化、総出荷量は前年比約1割増加 ～

TANAKA ホールディングス株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：岡本英彌）は、ボンディングワイヤ（配線材、以下：ワイヤ）製造で世界トップシェアを誇る、田中貴金属グループの田中電子工業株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：田中浩一郎）が、2012年12月までのワイヤ出荷量（指数）を材料別でまとめたことを発表します。

2008年（1月～12月）の出荷量を基準にすると、金製と銅製、アルミ製のワイヤ出荷量を合計した総出荷量は、2012年に約17.0%増を記録し、2011年と比べると約11.4%増えました。2010年に過去最高の総出荷量を記録した後、2011年は東日本大震災による影響もあり前年比で約15.3%減少しましたが、その後は徐々に受注が回復したほか、銅製ワイヤの出荷量が急増したことなどが後押しとなり、2012年はプラス成長になったと考えられます。

■ 銅製ワイヤは前年比約2倍の出荷量で、過去最高を記録

2012年の銅製ワイヤの出荷量は、これまで過去最高であった2011年に比べて、約89.6%増と大幅に増加しました。銅製ワイヤは、金相場が高水準で推移していることを背景に、金製ワイヤからの代替が本格的に進んでおり、主に原材料費削減の観点から、パソコンやスマートフォン（高機能携帯電話）など汎用機器のIC（集積回路）やLSI（大規模集積回路）の配線材として使用され始めています。

銅は金に比べて温度変化や湿度に弱く、酸化しやすいため、品質安定性が低いという問題がありました。田中電子工業では、最先端の加工技術を駆使して、要求性能を十分に満たすことができる銅製ワイヤを開発し、販売してきました。こうした技術開発の進展と金の価格高騰が追い風となり、2009年から代替が本格化した銅製ワイヤは、2008年の出荷量を基準とすると、2009年に約5倍、2010年に約8倍、2011年に約13倍と毎年、加速的に出荷量を増やしました。そして2012年には、2008年の出荷量の約24倍にまで増加し、総出荷量を大きく牽引する製品となりました。

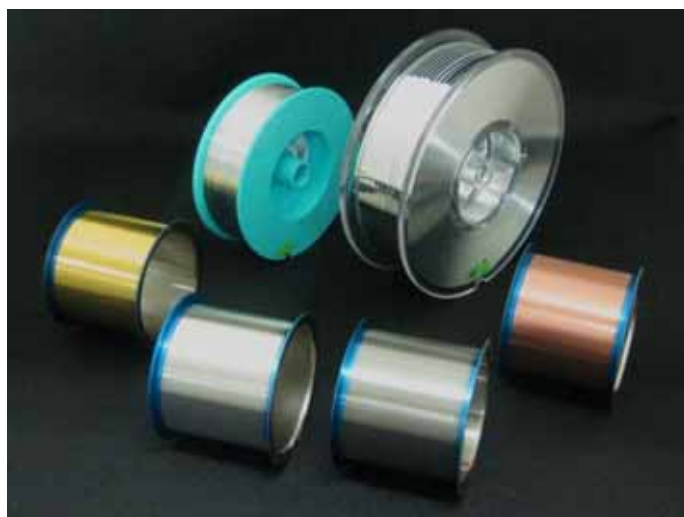
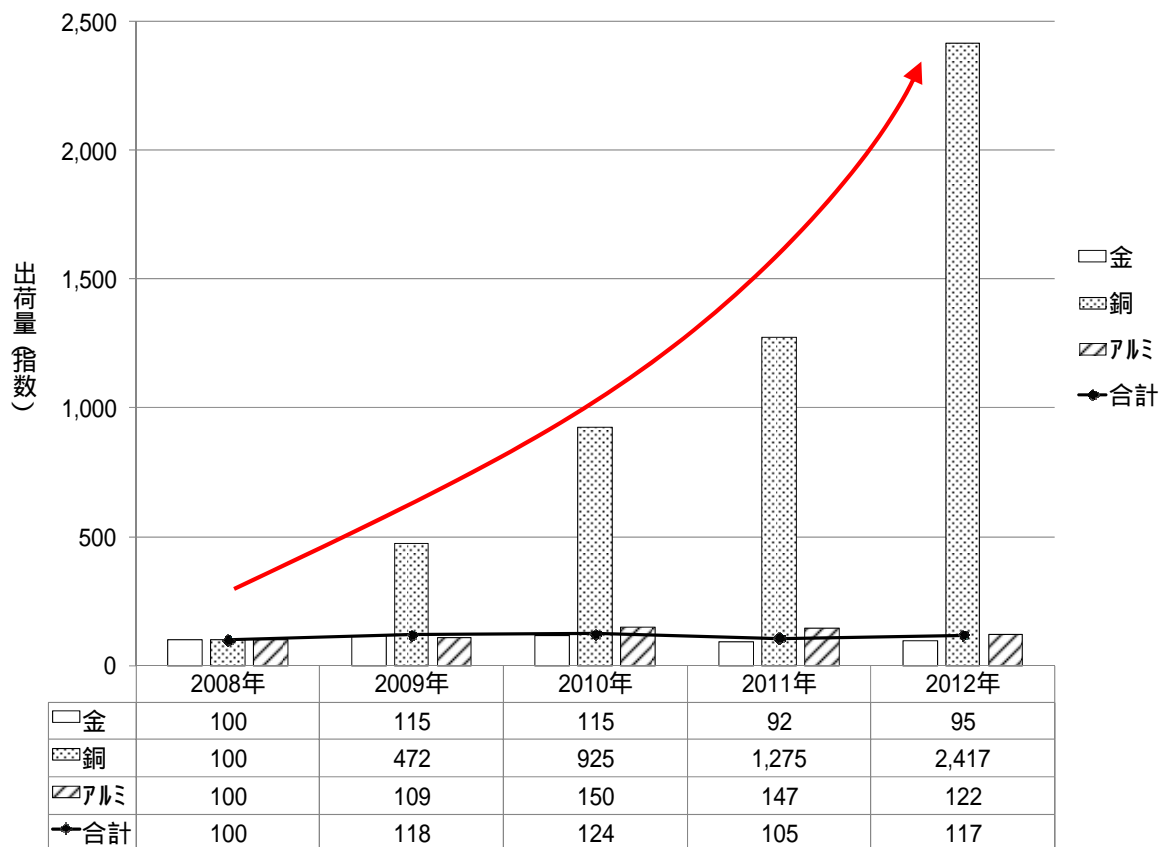
■ 「金製ワイヤの高需要」も総出荷量の増加を後押し

総出荷量がプラス成長に回復したもう一つの理由として、金製ワイヤの高い需要が挙げられます。2012年の金製ワイヤの出荷量は、前年比で約3.3%増えました。2009年以降、金製ワイヤから銅製ワイヤへの素材代替が進んでいますが、金は耐食性や導電性などに優れた化学的特性を持っていることから、金製ワイヤは依然として高い需要を保持しており、ワイヤの主力プレーヤーとして総出荷量を牽引しています。特に金製ワイヤは、車載電子機器や産業用機器といった高い信頼性が求められる機器の半導体配線を中心に、幅広い用途で必要とされており、今後も高い需要を維持すると考えられます。

また、2012年のアルミ製ワイヤの出荷量は、前年比で約17.0%減少しましたが、ここ数年は一定の範囲で出荷量が推移しています。現在、アルミ製ワイヤは、主にパワーデバイスなど大電流通電用の半導体配線材として使われていますが、今後、次世代パワーデバイスにおける半導体配線材としての市場が拡大すれば、出荷量は増加すると見込まれます。

ボンディングワイヤ出荷量（指数）の推移

2008年（1月～12月）の出荷量を100とした指数



田中電子工業が製造するボンディングワイヤ（一例）

TANAKA ホールディングス株式会社 (田中貴金属グループを統括する持株会社)

本社：東京都千代田区丸の内 2-7-3 東京ビルディング 22F

代表：代表取締役社長 岡本 英彌

創業：1885 年 設立：1918 年 資本金：5 億円

グループ連結従業員数：3,869 名 (2011 年度)

グループ連結売上高：10,640 億円 (2011 年度)

グループの主な事業内容：貴金属地金 (白金、金、銀 ほか) 及び各種工業用貴金属製品の製造・販売、輸出入及び貴金属の回収・精製

HP アドレス：<http://www.tanaka.co.jp> (グループ)、<http://pro.tanaka.co.jp> (工業製品)

田中電子工業株式会社について

本社：東京都千代田区丸の内 2-7-3 東京ビルディング 22F

代表：代表取締役社長 田中 浩一郎

設立：1961 年 資本金：18 億 8 千万円

従業員数：142 名 (2011 年度) 売上高：334 億 3 千万円 (2011 年度)

事業内容：高純度各種ボンディングワイヤの製造 (金、金合金、アルミ、アルミシリコン、銅ほか)

HP アドレス：<http://www.tanaka-bondingwire.com>

<田中貴金属グループについて>

田中貴金属グループは 1885 年 (明治 18 年) の創業以来、貴金属を中心とした事業領域で幅広い活動を展開してきました。2010 年 4 月 1 日に TANAKA ホールディングス株式会社を持株会社 (グループの親会社) とする形でグループ再編が完了しました。ガバナンス体制を強化するとともにスピーディな経営と機動的な業務執行を効率的に行うことにより、お客様へのより一層のサービス向上を目指します。そして、貴金属に携わる専門家集団として、グループ各社が連携・協力して多様な製品とサービスを提供しております。

国内ではトップクラスの貴金属取扱量を誇る田中貴金属グループでは、工業用貴金属材料の開発から安定供給、装飾品や貴金属を活用した貯蓄商品の提供を長年に渡り行ってきました。今後も貴金属のプロとしてグループ全体で、ゆとりある豊かな暮らしに貢献し続けます。

田中貴金属グループの中核 8 社は以下の通りです。

- ・ TANAKA ホールディングス株式会社 (純粋持株会社)
- ・ 田中貴金属工業株式会社
- ・ 田中貴金属インターナショナル株式会社
- ・ 田中貴金属販売株式会社
- ・ 日本エレクトロプレイティング・エンジニアーズ株式会社
- ・ 田中電子工業株式会社
- ・ 田中貴金属ビジネスサービス株式会社
- ・ 田中貴金属ジュエリー株式会社